



## 全国地域安全運動

街頭犯罪の防止やサギ電話被害防止を呼びかける全国地域安全運動が10月11日（火）～10月20日（木）の間実施されます。

刑法犯の認知件数は、岐阜県下では減少傾向にありますが、大垣警察署管内では、身内を名乗る者からのオレオレ詐欺・融資会社をかたる融資保証金詐欺・メールによる架空請求詐欺などが増加しています。その被害額は6,700万円にもなります。

大垣警察署では、このような詐欺電話被害防止のために、在宅中でも留守番電話にして電話の相手を確認することを勧めています。

留守番電話では、犯人が自分の声を録音されることを嫌い、被害防止の効果が期待されます。

また、警察では銀行などの金融機関と協力し、高額な金額の引出者に対し注意を促し、詐欺被害の未然防止を図っていますので、ご協力をお願いします。

## 車上ねらい・部品盗等の盗難に注意

安八町では、毎年この時期に車上ねらいや部品盗難が多発しています。

自宅車庫内に駐車してあっても、鍵のかけていない車両の貴重品や軒先に置いてあるタイヤなどが盗難被害に遭っています。

短い時間であっても、車から離れる際は必ず鍵をかける。貴重品を置いていかない。また、自宅駐車場にもセンサーライトを設置する。保管タイヤにはシートをかけるなどの対策をお願いします。



## 家具の転倒対策はお済みですか

「家具転倒策(かぐてんたいさく)」とは、地震の揺れでケガ等をしないために、家具や家電などを固定したり、落下防止措置をしたりする、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略称です。

家具転倒策は、地震が発生した際にご自分を守る「自助」だけでなく、「共助」として、隣近所や地域の助け合いへとつながる重要な対策です。

## ケガだけではない。家具転倒策をしていないと起こる危険

### ◆火災

地震が起こると、家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生することがあります。ストーブや水槽ヒーターなどの熱を発生する器具に家具類が転倒等をした場合だけでなく、ストーブ等に家具類の収容物（本棚の本など）が落下することでも、火災が発生する危険があります。

### ◆避難障害

出入口付近に家具転倒策を実施していない家具を配置してしまうと、地震により、転倒した家具が扉や窓を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。大規模地震が発生した場合、こうして室内に閉じ込められてしまうと、そのまま長時間救出されない可能性があります。避難できない状況で、自宅や、近隣の住宅等で火災が発生すると、火災に巻き込まれる可能性が高く、非常に危険です。

### ◆どうやって家具転倒策をしたらいいの？

家具転倒策と聞いてすぐ頭に浮かぶのは、金具などを使用し、家具と壁をネジ留めするようなものかもしれませんが、ネジ留めが不要な対策器具を組み合わせて固定する方法もおすすめてです。例えば、タンスなどの場合、つっぱり棒とストッパー式（もしくはマット式）を組み合わせて設置することで、L型金具と同等の効果が得られます。

対策を行う家具の形状や重さに合った器具を選び、器具の効果が十分に発揮できるよう、正しく設置することが重要です。